



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <http://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 20,276 | 0.2 | 20 | | 123 | 75.1 | 19 | 94.3 |
| 30年3月期第1四半期 | 20,235 | 1.6 | 376 | 22.1 | 497 | 5.6 | 340 | 3.3 |

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 29百万円 (%) 30年3月期第1四半期 456百万円 (71.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 0.32 | |
| 30年3月期第1四半期 | 5.52 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 74,966 | | 35,369 | | | 46.9 |
| 30年3月期 | 77,703 | | 35,894 | | | 45.9 |

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 35,181百万円 30年3月期 35,703百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 2.00 | | 8.00 | 10.00 |
| 31年3月期 | | | | | |
| 31年3月期(予想) | | 2.00 | | 8.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 43,300 | 2.6 | 600 | 46.6 | 700 | 44.0 | 400 | 51.8 | 6.48 |
| 通期 | 94,000 | 3.0 | 3,100 | 12.0 | 3,200 | 13.1 | 2,100 | 15.3 | 34.04 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 66,829,249 株 | 30年3月期 | 66,829,249 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 5,140,317 株 | 30年3月期 | 5,140,316 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 61,688,933 株 | 30年3月期1Q | 61,690,531 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、保護主義による貿易摩擦や地政学リスクの高まりといった不安定要素を抱え込み、先行きは依然として不透明な状況が続いております。建設業界では都市部を中心とした大型再開発プロジェクトが本格化するなど、内装資材需要の拡大が期待されますが、新設住宅着工は力強さに欠けており、また、原油・ナフサ高の影響により主要原材料価格が更なる上昇基調にあるなど、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社グループは本年4月に中期経営計画『SHINKA-100』フェーズⅡ(2018～2020年度)をスタートしました。フェーズⅡ初年度となる2018年度では、より一層の商品力・販売力の強化と強固な事業基盤整備を推し進め、更なる発展性の追求に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は20,276百万円(前年同期比0.2%増)、営業損失は20百万円(前年同期 営業利益376百万円)、経常利益は123百万円(前年同期比75.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円(前年同期比94.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

＜プロダクト事業＞

塩ビ床材では、本年5月に、汎用グレードのビニル床シートにノーワックス機能を加えた「フロアリューム プレーンNW」「フロアリューム マーブルNW」を発売し、メンテナンスの軽減と美観の維持を基本性能とした「NWシリーズ」のラインアップを更に拡充しました。また、6月には、本格的な品揃えとしては国産初となる高意匠単層ビニル床シート「ヒトエ グランザ」「ヒトエ ファイン」を開発、販売をスタートしました。高耐久の単層構造と、独自性に富んだ機能及び意匠を特長としており、様々な用途において更なる需要の創出を図っております。

カーペットでは、堅調なオフィス市場を背景として、昨年10月に大幅刷新した「GA-100シリーズ」など、主力のタイルカーペットが好調に推移しました。壁装材では、非住宅分野を中心に「パワー1000」の売上が伸びましたが、住宅分野での需要が伸び悩み、全体では前年同期を下回りました。一方、カーテンは、住宅着工が弱含みとなる中で「エルエア」が堅調に推移するなど、前年並みの売上となりました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は12,245百万円(前年同期比0.3%減)となりました。利益面では、主要原材料価格の上昇に加え、物流コストの高騰などが影響し、セグメント利益は244百万円(前年同期比63.9%減)となりました。

＜インテリア卸及び工事事業＞

インテリア卸事業では、非住宅分野においてはカーペットを中心として堅調に推移しましたが、住宅分野における内装材需要は力強さに欠け、壁装材やブラインドなどのインテリア金物は売上が伸び悩みました。グループの施工力を活かした工事事業では、昨年度に引き続き受注が好調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は13,256百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は26百万円(前年同期 セグメント損失19百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、季節変動に伴う売上債権の減少等により、前期末に比べ2,736百万円減少し、74,966百万円となりました。

負債については、仕入債務の減少等により、前期末に比べ2,212百万円減少し、39,596百万円となりました。

純資産については、配当金の支払いによる利益剰余金の減少等により、前期末に比べ524百万円減少し、35,369百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月8日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,253 | 9,544 |
| 受取手形及び売掛金 | 28,054 | 24,198 |
| 商品及び製品 | 7,629 | 8,337 |
| 仕掛品 | 1,312 | 1,342 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,538 | 1,719 |
| その他 | 903 | 844 |
| 貸倒引当金 | △65 | △59 |
| 流動資産合計 | 48,626 | 45,927 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,043 | 5,973 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,618 | 2,782 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 326 | 304 |
| 土地 | 9,088 | 9,088 |
| 建設仮勘定 | 621 | 682 |
| その他(純額) | 74 | 68 |
| 有形固定資産合計 | 18,771 | 18,899 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 178 | 153 |
| その他 | 1,315 | 1,325 |
| 無形固定資産合計 | 1,494 | 1,479 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,121 | 6,025 |
| 繰延税金資産 | 678 | 683 |
| その他 | 2,103 | 2,048 |
| 貸倒引当金 | △93 | △96 |
| 投資その他の資産合計 | 8,810 | 8,660 |
| 固定資産合計 | 29,076 | 29,039 |
| 資産合計 | 77,703 | 74,966 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 23,748 | 22,494 |
| 短期借入金 | 1,020 | 420 |
| 未払法人税等 | 582 | 80 |
| 未払費用 | 1,671 | 1,372 |
| 賞与引当金 | 783 | 218 |
| その他 | 1,813 | 2,374 |
| 流動負債合計 | 29,619 | 26,960 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,705 | 6,205 |
| 環境対策引当金 | 27 | 27 |
| 退職給付に係る負債 | 4,028 | 4,028 |
| その他 | 2,427 | 2,374 |
| 固定負債合計 | 12,188 | 12,635 |
| 負債合計 | 41,808 | 39,596 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,855 | 6,855 |
| 資本剰余金 | 6,426 | 6,426 |
| 利益剰余金 | 21,247 | 20,773 |
| 自己株式 | △1,122 | △1,122 |
| 株主資本合計 | 33,406 | 32,932 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,330 | 2,270 |
| 為替換算調整勘定 | 1 | △0 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △35 | △21 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,296 | 2,249 |
| 非支配株主持分 | 190 | 188 |
| 純資産合計 | 35,894 | 35,369 |
| 負債純資産合計 | 77,703 | 74,966 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 20,235 | 20,276 |
| 売上原価 | 14,436 | 14,696 |
| 売上総利益 | 5,798 | 5,580 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,422 | 5,600 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 376 | △20 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 1 |
| 受取配当金 | 82 | 72 |
| 仕入割引 | 20 | 19 |
| 保険配当金 | 46 | 46 |
| その他 | 32 | 64 |
| 営業外収益合計 | 183 | 204 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21 | 19 |
| 売上割引 | 35 | 31 |
| その他 | 4 | 8 |
| 営業外費用合計 | 61 | 60 |
| 経常利益 | 497 | 123 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5 | 57 |
| 投資有価証券評価損 | — | 5 |
| 特別損失合計 | 5 | 63 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 492 | 60 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 32 | 27 |
| 法人税等調整額 | 145 | 15 |
| 法人税等合計 | 178 | 42 |
| 四半期純利益 | 313 | 18 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △26 | △1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 340 | 19 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 313 | 18 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 113 | △60 |
| 為替換算調整勘定 | △1 | △1 |
| 退職給付に係る調整額 | 30 | 13 |
| その他の包括利益合計 | 142 | △47 |
| 四半期包括利益 | 456 | △29 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 482 | △27 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △26 | △1 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|------------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | プロダクト 事業 | インテリア卸 及び工事事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,302 | 12,933 | 20,235 | — | 20,235 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,981 | 67 | 5,049 | △5,049 | — |
| 計 | 12,283 | 13,000 | 25,284 | △5,049 | 20,235 |
| セグメント利益又は損失(△) | 676 | △19 | 657 | △159 | 497 |

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△159百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|------------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | プロダクト 事業 | インテリア卸 及び工事事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,092 | 13,183 | 20,276 | — | 20,276 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,152 | 73 | 5,225 | △5,225 | — |
| 計 | 12,245 | 13,256 | 25,502 | △5,225 | 20,276 |
| セグメント利益 | 244 | 26 | 271 | △147 | 123 |

(注)1 セグメント利益の調整額△147百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。